

令和元年度農地中間管理事業公募区域一覧

公募期間 令和元年5月7日（火）から令和元年6月30日（日）まで

| 市町名 | 区域名 (公募の単位) | 区域の農業状況 | | 区域の担い手状況 | |
|------|----------------|-----------------|---|----------|--------|
| | | 農業地域類型区分 | 特 徴 | 担い手の多寡 | 認定農業者数 |
| 桑名市 | 桑名 | 都市・平地・中間・山間農業地域 | 養老山系に位置する山地・丘陵地域や、木曾三川と員弁川がつくる沖積平野、低くて平坦な水郷地域に農地が形成されている。 | 適 | 77 |
| いなべ市 | いなべ | 都市・平地・中間・山間農業地域 | 農用地は約3,036haで、うち76%が水田であり、平地部から中山間部までの各所に存在し、水田農業地域であり、ほ場整備事業は完了している。 また、用水は鈴鹿山系・養老山系を源とした員弁川水系と、三重用水により水源を確保する溜池水系地区とがある。 | 適 | 106 |
| 木曾岬町 | 木曾岬 | 平地農業地域 | 水田地域で、既には場整備は完了しており、トマト、観葉植物などの施設園芸が盛んである。 | 適 | 55 |
| 東員町 | 東員 | 都市・平地農業地域 | 本町は、平坦地の水田を主とした水稲中心の農業であり、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。 | 適 | 28 |
| 四日市市 | 四日市 | 都市・平地農業地域 | 水田地域では、様々な規模の担い手が混在している。西部では茶の栽培が盛んである他、施設園芸、果樹、畜産が点在している。 | 適 | 216 |
| 菰野町 | 菰野 | 都市農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている場所もあるが、山間地の農地も存在する。 | 適 | 13 |
| | 鶴川原 | 平地農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。 | 適 | 21 |
| | 竹永 | 都市農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。 | 適 | 7 |
| | 朝上 | 中間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている場所もあるが、山間地の農地も存在する。 | 適 | 18 |
| | 千種 | 中間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている場所もあるが、山間地の農地も存在する。 | 適 | 20 |
| 朝日町 | 朝日 | 都市農業地域 | 町内の基盤整備はほぼ終了している。一部地域ではほ場が小さく、畔取り等で耕作面積を拡大するのは困難な状態である。 | 適 | 5 |
| 鈴鹿市 | 鈴鹿 | 都市・平地・中間農業地域 | 東南部地域では、肥沃な土地と豊かな水という条件を活かし、稲作や野菜栽培が行われています。西部地域では植木が盛んに栽培され、また茶栽培も多く、伊勢茶ブランドの名は全国に知られている。 | やや少ない | 211 |
| 亀山市 | 中部 中学校区 | 都市・平地・中間農業地域 | 主穀を中心とした農業が盛んである。 また、中の山パイロットを中心に茶の栽培、能褒野地区では花木の栽培が行われている。 | 少ない | 21 |
| | 亀山 中学校区 | 都市・平地・中間農業地域 | 主穀を中心とした農業が盛んである。 また、一部の区域で茶の栽培も行われている。 | 少ない | 12 |
| | 関 中学校区 | 都市・中間・山間農業地域 | 主穀を中心とした農業が盛んである。 また、一部の区域で茶の栽培も行われている。 | 少ない | 2 |

| 市町名 | 区域名 (公募の単位) | 区域の農業状況 | | 区域の担い手状況 | |
|-----|----------------|---------------------|---|----------|--------|
| | | 農業地域類型区分 | 特 徴 | 担い手の多寡 | 認定農業者数 |
| 津市 | 津・香良洲 | 都市・平地 ・中間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。西部には中山間地域があり、南部や香良洲地域では担い手が不足気味である。 | やや少ない | 77 |
| | 久居 | 都市・平地 ・中間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。西部には中山間地域があり、担い手が不足している。 | 少ない | 63 |
| | 河芸 | 都市・平地農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。 | 少ない | 8 |
| | 芸濃 | 平地・中間 ・山間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。西部には中山間地域があり、担い手が不足している。 | 少ない | 16 |
| | 美里 | 中間・山間農業地域 | 中山間地域があり、担い手が不足している。担い手は少ないが、一部で集落営農による土地利用型農業が行われている。 | 少ない | 6 |
| | 安濃 | 平地・中間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。西部には中山間地域があり、担い手が不足している。 | 少ない | 16 |
| | 一志 | 平地・中間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業がおこなわれている。南西部には中山間地域があり、担い手が不足気味である。 | やや少ない | 25 |
| | 白山 | 中間農業地域 | 水田地域で、多くの担い手が混在して土地利用型農業が行われている。多くが中山間地域であり、担い手が不足気味である。 | やや少ない | 24 |
| | 美杉 | 中間・山間農業地域 | 中山間地域があり、担い手が不足している。一部で茶畑の集積が進んでいる。 | 少ない | 17 |
| 松阪市 | 松阪 | 都市・平地・中間 ・山間農業地域 | 平坦地域においては、営農組合を中心としオペレータを選任し土地利用型農業が行われている。なお、山間部の傾斜地については、国の事業等を活用し、営農の維持を行っている。 | やや多い | 188 |
| 多気町 | 多気 | 平地・中間農業地域 | 東部に広がる水田地域と西部の一部中山間地では、土地利用型農業が行われている。櫛田川沿いの西部地域では伊勢いもが特産である。 | やや少ない | 39 |
| | 勢和 | 平地・中間農業地域 | 東部の一部を除きほとんどの地域が中山間地となっている。畑地では茶の生産が盛んである。 | 少ない | 16 |
| 明和町 | 明和 | 平地農業地域 | 基盤整備済みの優良農地を基礎的資源に水稻を中心とした土地利用型農業をはじめ、施設野菜、畜産等多様な農業が営まれている。 | 適 | 53 |
| 大台町 | 大台 | 中間・山間農業地域 | 水田、樹園地（茶）など土地利用型農業が行われている。 | 少ない | 16 |
| | 宮川 | 山間農業地域 | 山間地に水田が点在する。 | 少ない | 6 |
| 伊勢市 | 旧伊勢市 | 都市・平地 ・中間農業地域 | 平坦な地域では、土地利用型農業、露地野菜、施設園芸等が行われており、中山間地域では、果樹栽培が中心である | 適 | 70 |
| | 二見町 | 都市的地域 | 平坦な地域であり、施設野菜、水稻を中心としている。 | やや少ない | 6 |
| | 小俣町 | 都市・平地農業地域 | 平坦な地域であり、土地利用型農業、施設野菜、露地野菜、果樹栽培等が行われている。 | やや少ない | 31 |
| | 御菌町 | 都市的地域 | 平坦な地域であり、施設野菜、露地野菜、水稻を中心としている。 | やや少ない | 10 |

| 市町名 | 区域名 (公募の単位) | 区域の農業状況 | | 区域の担い手状況 | |
|------|----------------|---------------------|--|----------|--------|
| | | 農業地域類型区分 | 特 徴 | 担い手の多寡 | 認定農業者数 |
| 鳥羽市 | 加茂 | 山間農業地域 | 水稲が中心で点在した農地や傾斜地に張り付いた農地が多い。 | 少ない | 3 |
| | 長岡 | 中間農業地域 | 水稲が中心で点在した農地や傾斜地に張り付いた農地が多い。 | 少ない | 0 |
| | 鏡浦 | 中間農業地域 | 水稲が中心で点在した農地や傾斜地に張り付いた農地が多い。 | 少ない | 1 |
| 志摩市 | 阿児 | 都市・中間農業地域 | 山間谷間で水田区域が点在している。 | やや少ない | 12 |
| | 浜島 | 中間農業地域 | 山間谷間で水田区域があるが、一部平地に水田区域があるが、区域比率として耕作地は少ない。 | 少ない | 2 |
| | 大王 | 都市・平地 ・中間農業地域 | 山間谷間で水田区域があるが、一部平地に水田区域がある。区域の土地利用比率として耕作地は少ない。 | 少ない | 0 |
| | 志摩 | 都市・中間農業地域 | 水田耕作地はほぼ無く、点在した畑作地が中心である。 | 少ない | 2 |
| | 磯部 | 中間農業地域 | 水田が中心で圃場整備した区域も多い。 | やや少ない | 12 |
| 玉城町 | 玉城 | 平地農業地域 | 麦・大豆の作付を含む土地利用型農業を中心に、野菜・果樹等も行う平坦地域である。 | 適 | 56 |
| 度会町 | 小川郷 | 山間農業地域 | 水稲が中心で一之瀬川流域に点在した農地や傾斜地に張り付いた農地が多い。 | 少ない | 0 |
| | 内城田 | 中間農業地域 | 水稲・茶が中心で宮川流域の農地や一部傾斜地に張り付いた農地が多い。茶が特産である。 | やや少ない | 12 |
| | 一之瀬 | 山間農業地域 | 水稲が中心で一之瀬川流域に点在した農地や傾斜地に張り付いた農地が多い。 | 少ない | 3 |
| | 中川 | 山間農業地域 | 水稲・茶が中心で宮川流域の農地や一部傾斜地に張り付いた農地が多い。茶が特産である。 | やや少ない | 9 |
| 大紀町 | 大宮 | 山間農業地域 | 山間地に点在する農地や、傾斜地に張り付いた水田が多い。 | 少ない | 10 |
| | 紀勢 | 山間農業地域 | | | 0 |
| | 大内山 | 山間農業地域 | | | 1 |
| 南伊勢町 | 南勢 | 中間・山間農業地域 | 柑橘が中心である。 | 少ない | 27 |
| | 南島 | 山間農業地域 | 水稲が中心である。 | 少ない | 1 |
| 伊賀市 | 伊賀市 | 都市・平地・中間 ・山間農業地域 | 8割以上が水田であり、平坦な地域では水稲、麦、大豆等の土地利用型農業が中心に行われている。山間部では、傾斜地が多く、水稲が主である。 | やや少ない | 230 |
| 名張市 | 名張市 | 都市・中間農業地域 | 農用地は約1200haでうち約1000haが水田となっている。水稲を中心として施設園芸や露地野菜、果樹栽培等が行われている。 | 少ない | 39 |

| 市町名 | 区域名 (公募の単位) | 区域の農業状況 | | 区域の担い手状況 | |
|-----|---|---------------------------|--|----------|--------|
| | | 農業地域類型区分 | 特 徴 | 担い手の多寡 | 認定農業者数 |
| 尾鷲市 | 尾鷲 | 山間農業地域 | 甘夏やデコポン等の柑橘生産が主である。柑橘生産に関しては一定以上の規模が集積されているがそれ以外の農業形態では集積がなされていない。 | 少ない | 6 |
| 紀北町 | 紀北 | 中間・山間農業地域 | 水稲栽培、畑作が中心に行われている。一部傾斜地では柑橘が栽培されている。 | 少ない | 21 |
| 熊野市 | 井戸町 | 中間農業地域 | 地域の大部分が水稲を行っている。 | やや少ない | 1 |
| | 有馬町 | 中間農業地域 | 斜面は樹園地として柑橘が栽培されている。平地は、水田が中心となっている。 | やや少ない | 5 |
| | 金山町 | 中間農業地域 | 柑橘が中心であるが、水稲も行っている。 | やや少ない | 11 |
| | 久生屋町 | 中間農業地域 | 斜面は樹園地として柑橘が栽培されている。平地は、水田、畑、樹園地が混在している。 | やや少ない | 7 |
| | 育生町 | 山間農業地域 | 地域の大部分が水稲を行っている。 | やや少ない | 2 |
| | 神川町 | 山間農業地域 | 地域の大部分が水稲を行っている。 | やや少ない | 0 |
| | 五郷町 | 山間農業地域 | 地域の大部分が水稲を行っている。 | やや少ない | 1 |
| | 飛鳥町 | 山間農業地域 | 地域の大部分が水稲を行っている。しかしながら、特産品である「たかな」の栽培も行われている。 | やや少ない | 1 |
| | 紀和町 | 山間農業地域 | 水田、畑、樹園地が混在している。 | やや少ない | 2 |
| | 須野町、甫母町、二木島里町、二木島町、遊木町、新鹿町、波田須町、磯崎町、大泊町、木本町 | 都市的地域 中間農業地域 山間農業地域 | 水田、畑、樹園地が混在している。 | やや少ない | 0 |
| 御浜町 | 御浜 | 平地・中間・山間農業地域 | 平地・中間地では温暖な気候を活かし、柑橘栽培が主体である。また、山間部では水稲が行われている。 | 少ない | 175 |
| 紀宝町 | 柑橘地域 (井田・田代) | 中間農業地域 | 温暖な気候と水資源に恵まれており、柑橘等を中心としている。 | 少ない | 32 |
| | 水稲地域 (相野谷川流域・成川・神内) 川丈地域 | 中間農業地域 | 温暖な気候と水資源に恵まれており、水稲を中心としている。 | | |
| | (北桧杖・瀬原・浅里) | 山間農業地域 | 温暖な気候と水資源に恵まれており、水稲を中心としている。 | | |